



公益社団法人 日本栄養士会

TNT Geriatric for Dietitian

高齢者栄養療法の基本がわかる、eラーニングコンテンツ

プログラム

- A-1 栄養状態に影響を与える加齢による生理的変化
- A-2 栄養障害と要介護状態
(フレイル・サルコペニア、肥満)
- A-3 栄養スクリーニングと栄養アセスメント
- A-4 必要栄養量
- B-1 経腸栄養法、経腸栄養製品の特長、静脈栄養法
- B-2 心・肺疾患、感染症、脱水・輸液の種類
- B-3 がん、緩和ケア

- C-1 糖尿病(高齢者の特長)とCKD
- C-2 動脈硬化、脳卒中、虚血性心疾患
- C-3 創傷治癒、褥瘡、骨粗鬆症、骨折
- C-4 パーキンソン病、認知症・うつ
- D-1 薬物、食物との相互作用
- D-2 高齢者の生活
- D-3 高齢者の食生活

日本栄養士会生涯教育 実務研修 高齢期の栄養管理: **4**単位

協力:アボットジャパン合同会社



Abbott

TNT Geriatric for Dietitian (TNT-Geri-D)

背景

超高齢社会を迎えている今、**健康寿命をいかに伸ばすか**が課題になっており、その対策が急がれています。健康寿命は栄養状態とも密接に関係します。そして健康寿命を伸ばすためには、**高齢者のフレイルやサルコペニアなどの予防**が鍵となります。そのため、**身体活動やより適切な食事・栄養補給の重要性**が注目されています。

このような状況のなか、地域に密着して高齢者の方々と接している管理栄養士・栄養士は、より幅広く食と栄養・身体状態などを含めた栄養管理に必要な知識を身につけることが求められています。

プログラム概要

TNT-Geriatric for Dietician (TNT-Geri-D)は、管理栄養士、栄養士向けの**老年栄養学教育プログラム**です。これは医師を対象にした教育プログラム、TNT-Geriatricがベースになっています。

TNT-Geriatricは、**欧州老年医学会** (European Union Geriatric Medicine Society: EUGMS) が作成した老年栄養学の教育プログラムです。

日本栄養士会は、**日本老年医学会**の承諾のもと、TNT-Geriatricを管理栄養士・栄養士向けにアレンジしました。それが**TNT-Geri-D**です。**栄養管理の基礎知識から、フレイル・サルコペニアの知識、そして経腸栄養や静脈栄養、各疾患における臨床栄養学のエッセンス**を学ぶことができるように編集されています。

作成

新井 英一 先生	静岡県立大学食品栄養科学部栄養生命科学科 教授
大関 知子 先生	大阪府立大学地域保健学域総合リハビリテーション学類 教授
加藤 すみ子 先生	公益社団法人日本栄養士会 理事
田中 弥生 先生	公益社団法人 日本栄養士会 常任理事
塚原 丘美 先生	名古屋学芸大学管理栄養学部管理栄養学科 教授
寺本 房子 先生	川崎医療福祉大学医療技術学部臨床栄養学科 特任教授
西村 一弘 先生	公益社団法人 日本栄養士会 常任理事
前田 佳予子 先生	武庫川女子大学生生活環境学部食物栄養学科 教授
渡邊 啓子 先生	公益社団法人 日本栄養士会 常任理事

(50音順)

監修 (B-3、C-1～3)

荒井 秀典 先生 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長

※受講希望される方は、所属の栄養士会へお問い合わせ下さい。

※くわしくは、日本栄養士会ホームページでご確認下さい。